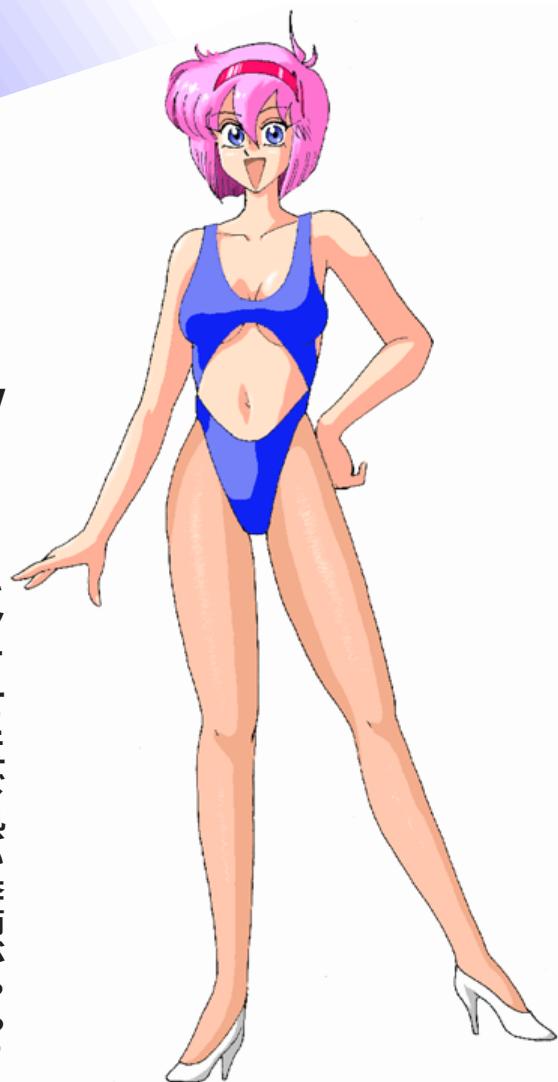


# Mini4WD GrandPrix in GAC



Works キッチュに再び熱い季節がやってきた。甲府After・BBS会員

GOMA氏主宰のミニ4WDレーシングシリーズであるGAC

(Great After Cup) が開幕したのだ。思えば、89年の

高天原GP以来、実に8年振りのミニ4WDレースである。

この年月は、ミニ4WDのテクノロジーをどのように変えたのか？

果たして、Works キッチュはまたもやジリ貧なのか？

今、サーキットにチェッカーフラッグがはためく！

## GAC (Great After Cup) について

甲府草の根ネットである、After BBSのメンバーであるGOMA氏が主宰する、ミニ4WDレース大会である。レギュレーションに味のあるGAC最大の特徴は、コースがアクリル製のものを使用している点にある。このコースは、タミヤ製と異なり、コース幅が105mm (タミヤは115mm)、フェンス高が45mm (同50mm) となっている。微妙なセッティングが勝敗を決するミニ4WDでは、この差はマシン条件に大きな影響を及ぼすのだ。傾斜バンク、平面レーンチェンジ部分など、今回も魔物はしっかり土地登記しているのだ。

GACでは、

レギュレーション1

無改造(キットそのまま)ただし電池は自由

レギュレーション2

いわゆるタミヤ・ジャパンカップレギュレーション

レギュレーション3

無制限改造(電池も自由)

の3つのレギュレーション部門があり、これらの妥当性を確かめるために3月20日に開催されたGAC

準備大会では、遠く大阪より参戦のAKIYAMA氏がレギュ1で優勝を納め、年末のGAC大会エントリー権を得た。



レギュ1部門で優勝したAKIYAMA氏の愛車  
"TRFよせし"



## サーキット紹介

これがGACのサーキットだ！ 山梨県・石和にある、勤労青年会館の音楽室を借切って展開されたサーキットは、ヘアピンあり、ストレートあり、バンクカーブありのダイナミックなコースである！

家庭用サーキットセットを約9セット投入して建造されたコースの総延長は約5km！ セット周回には15〜20秒もかかる。GACレースでは、このサーキットを10周・5セット周回して、リーグ戦にてポイントゲットして勝敗を決めるのである。

ポイントは、完走勝利8ポイント、完走3ポイント、追突勝利（つまり1周回して追付いた場合）5ポイント、コースアウト・逆走・停止・追突された場合には0ポイントとなる。この辺のポイント制も、GACレギュレーションの特徴であるのだ。

しかも、コース会場は音楽室なので、モーター音の騒音も漏れることがなく、周囲への心遣いも完璧だ。

## GAC事務局の様子

GAC大会オフィシャルPCとして、チームエントリーと対戦スケジュールを設定するPCがこれだ。オペレータは、AFTER BBS Sysop2であるOLH氏により、時給6円で雇われている。



## 参加チーム&車輜



← GOMA氏の異色マシン、Proto Saver EVA-00



単に色物である"レイ"のフィギュアは、そのいたいけな肛門に黒光りするネジをねじ込まれて、Proto Saverのボディに固定されている。

6月7日に開催されたGAC予選1への参加者は、GOMA氏、OLH氏、そんぴ氏、湖乃氏、S.E.T.S.氏、かしまよし氏、U.K.キックである。そしてこれがエントリーされた各氏自慢のロードマスター達だ。各チームそれぞれに趣向を凝らしたセッティングは見るだけでも楽しいものである。

今回、各エントリー車輜は、GAC準備大会で一種の流行であった「四駆鷹」等の大出力モーターではなく、コースに合わせた出力のモーターが搭載されている。全体的にマシンの設定レベルが高くなったのが、GAC予選2の傾向である。

電気系人間が多いGAC大会の特徴でもある、レギュル、3のバッテリーチョイスも、多くのノウハウが投入されている。例えば、ニカド電池。準備大会と不断の研究を通じて明らかになった「ニカド電池が速い」という事実により、ほとんどのチームがニカド電池を使用していた。この電池管理（充放電やエージング）に、各チームの技術力が見え隠れするのだ。





AKIYAMA



遠く大阪から参加したAKIYAMAのマシンは、GAC準備2大会の前日に急造されたマシンである。白いマシンが「TRFよせし」、黒いマシンが「黒蜘蛛号」である。基本的に忠実に作られたマシンは、本来の性能が素直に現われている。



な走りか期待される。しかも、ガタイの割には軽量であることも特徴となっている。

F Mシリーズと命名されたOLH氏のマシンは、その名の通りスーパーF Mシャシをベースにしたマシンばかりである。F Mシャシとは、「バカリントモーター」の意味で、重量の大きなモーターをフロントに配置することで、コーナーリング性能の向上が図られているものだ。強化FRPでフロントとサイドをブロックされたマシンは、コーナーに

# OLH



かしまよしき



デイという特徴があり、氏のマシンは、乾燥重量75gと大変軽量である。

一方、隣のマシンは、氏が作成したレイステインガーをベースにしたマシン。ところが、GACコースに対しては車幅がうまく調整されていないように、直線部分は速いがコーナーでトロトロという走りであつた。見るとタイヤが壁面に接触しているようである。

赤いボディの「かつとベ  
MMAGNU  
るかしま氏の  
マシンは、軽  
量なクリアボ



戦だ。

2000年以來、8年ぶりのミニ4駆参戦のワークススキッチュは、伝統の「アバンテシリーズ」をベースにしたマシンを投入。変質狂的な軽量化が施されたボディには、「つきなみCOMICS」のロゴや桐子クシンのステッカーがゴテゴテと貼られている。なにしろ、GAC唯一のスポンサー付チームなのだ。

今回のGAC予選Iには、この本作成のために時間不足で、GAC準

キ  
ツ  
チ  
ユ





## 湖乃

「プロトタイプ」をベースにした湖乃氏のマシンは、GACをシビアに見つめる仕様にまとめられている。ほとんどの参加者がスパーTZシャシやスパーFMSシャシ、スパー11シャシを採用しているにも関わらず、彼のマシンはTYPE5シャシ。軽量化に有利、ナロートレッドな仕様は、コーナーが多いGACを念頭にチューニングされている。しかしGAC準備2では、あまりの速さからコースアウトを多発していた。さて今回のレースはどうか？



「プロトタイプ」をベースにした湖乃氏のマシンは、GACをシビアに見つめる仕様にまとめられている。ほとんどの参加者がスパーTZシャシやスパーFMSシャシ、スパー11シャシを採用しているにも関わらず、彼のマシンはTYPE5シャシ。軽量化に有利、ナロートレッドな仕様は、コーナーが多いGACを念頭にチューニングされている。しかしGAC準備2では、あまりの速さからコースアウトを多発していた。さて今回のレースはどうか？



のレギュ3では完走ならず（コースアウト）というように振るわない。

Windoowsシリーズと命名されたGOMA氏のマシンは、一言でいうなら「イロモノ」。昨年のコミケットに車輛を持参して以来、彼のマシンは独自路線をひた走っている。EVAに強く影響されたカラーリングのマシンと、レイのフィギュアを搭載したマシンは、なにやら違うワールドでの勝負をめざしているのか。GAC主催者であるはずの氏の戦績は、GAC2

## GOMA



## Sunfish

ウハウを存分に投入した「チームレーシング桜」サクラ対戦の桜くんがボディに貼られているのがポイントである。今回のレースでは、ニカド電池のマネージメントにも気を配り、万全の体制を組んでいる。うむう、前回のレース時にワークスキッチュのウハウを伝えたのが失敗だったか？ しかも、今回の車輛には、中空スクリューシャフト等も投入されている！



2のレギュ3覇者であるSunfish氏は、前回のウハウを存分に投入した「チームレーシング桜」サクラ対戦の桜くんがボディに貼られているのがポイントである。



## そんぴ

「電気的特性」に厳しいそんぴ氏のマシンは、サイクロンマグナムTRFをベースとした2機種。そんぴTRFシリーズは、PCVAN・アニメカンパニーでのウハウを投入し、さらに独自の「エキサイター」と呼称されるコンデンサーをモーターに接続している。これってタミヤレギュレーションに適合するの？



# G A C 予選1 結果！！



## レギュ1(無改造・自由電池)部門 / そんぴ TRF Naked 優勝！



| チーム/車輻名                | A | B | C | D | E | 得点合計 |
|------------------------|---|---|---|---|---|------|
| A OLH / SV98           | - | 8 | 3 | 0 | 8 | 19   |
| B キッチュ / WK5           | 3 | - | 0 | 0 | 0 | 3    |
| C GOMA / Wind.O.W.S 10 | 8 | 5 | - | 3 | 0 | 16   |
| D そんぴ / そんぴTRF Naked   | 8 | 0 | 8 | - | 8 | 24 ☆ |
| E 湖乃 / PROTO-YUNI      | 0 | 8 | 0 | 0 | - | 8    |

## レギュ2(タミヤ基準・指定電池)部門 / そんぴ TRF Reduced TT 優勝！



| チーム/車輻名                   | A | B | C | D | E | 得点合計 |
|---------------------------|---|---|---|---|---|------|
| A OLH / FM-new7           | - | 0 | 3 | 0 | 0 | 3    |
| B キッチュ / WK3              | 5 | - | 5 | 3 | 8 | 21   |
| C GOMA / Wind.O.W.S 0     | 8 | 0 | - | 0 | 0 | 8    |
| D そんぴ / そんぴTRF ReducedTT  | 5 | 8 | 5 | - | 8 | 26 ☆ |
| E 湖乃 / BROKEN-MAGNUM-YUNI | 8 | 3 | 5 | 3 | - | 19   |

## レギュ3(自由改造・自由電池)部門 / Sunfish チーム桜 T.R.S-r 優勝！



| チーム/車輻名                   | A | B | C | D | E | F | G | 得点合計 |
|---------------------------|---|---|---|---|---|---|---|------|
| A そんぴ/そんぴTRF Reduced      | - | 8 | 0 | 8 | 5 | 0 | 0 | 21   |
| B かしまよしき/"かつとび!!"MAGNUM   | 3 | - | 5 | 8 | 5 | 3 | 5 | 29   |
| C OLH/FM11                | 5 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 5 | 10   |
| D GOMA/PROTO-SABER EVA-00 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0    |
| E キッチュ/WORKS KITISCH 7    | 0 | 0 | 8 | 0 | - | 0 | 3 | 11   |
| F Sunfish/T.R.S-r         | 0 | 8 | 5 | 8 | 5 | - | 5 | 31 ☆ |
| G 湖乃/BROKEN MAGNUM-YUNI   | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 0 | - | 16   |

### レース講評

G A C 準備1大会の結果は、このレースに友と魂をかけたそんぴ氏が、レギュ1、2レースを制して堂々の2冠優勝をゲットした。マシンはサイクロンマグナムTRFをベースにし、PCVAN・アニカンで培ったノウハウを投入している。足回りはキットタイヤ&ホイールを使用し、グレードアップパーツは最小限にセーブしている。車輻重量も軽いほうではなく、このあたりのセッティングの妙というべきであろう。

レギュ3の無制限レースでは、G A C 準備2の同部門で優勝したSunfish氏が、その強さを見せつけた。レース用にキープしていた満タンのニカド電池と、細部まで行届いたマシンセッティングは、セット周回時間1:29秒(コース1周)の実力を持ち、どちらかというと耐久レース的な流れとなったG A C 予選1を制することができた。

### 次回レースに向けて

車輻に手間隙をかけた主催者のGOMA氏、ワークスキッチュの2チームは、ボロボロの結果である。やはり、単なるパワーアップでは勝利の女神の微笑みを得られないのだ。

さて、今回のG A C 予選2は、9月に開催予定である。それまでには、各チームもさらに高いレベルにマシン調整を行なっていることであろう。そして、年末のG A C 本戦で、勝利のシャランパンを浴びるのは……ますます熱くなるG A C レースに レディ・ゴー！

